

平成30年度(2018年度)

管理事業名	千里ニュータウン情報館事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基礎づくり ほか
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 30 千里ニュータウンプラザ費
部局名	都市計画部	予算執行所属	計画調整室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 【目的】 千里ニュータウンのまちづくりの資料収集、公開、情報発信を行うことにより、千里ニュータウンのまちづくりの推進に寄与する。 【概要】 ・千里ニュータウンプラザ施設管理事業(千里ニュータウンプラザ内に設置している千里ニュータウン情報館の建設費や修繕費などの維持管理経費に関すること) ・千里ニュータウン情報館運営事業(千里ニュータウンのまちづくりの歴史や住民の生活文化に係る資料の展示、地域情報の発信に関すること)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
入館者数	人	7,226	8,658	10,215	千里ニュータウン情報館の入館者数
維持管理経費の執行額	千円	16,103	15,606	15,968	公共施設として、入館者の利便性、快適性の向上を図りながら維持管理経費の適正な執行を行う。
成果の説明	入館者数について、平成29年度から増加しています。毎年、常設展示に加えて春と秋の企画展を実施し、多くの方々に千里ニュータウンのまちづくりの歴史や住民の生活文化などを知っていただく展示に取り組んでいます。さらに、平成30年度は博物館との協働事業や、複合施設の特徴を生かし、同じ千里ニュータウンプラザ内の千里図書館との連携した展示を行い、イベントの充実を図りました。 また、安全で清潔な環境を維持しつつ、館内設備の節電を行うなど、維持管理経費の削減に努めています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	76	-	-	-
経常収入 小計(a)	76	-	-	-
給与関係費	4,473	19,418	19,686	269
物件費	6,750	7,657	8,359	702
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,012	1,012	1,012	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	371	1,692	1,763	72
退職手当引当金繰入額	△12,862	15,936	1,520	△14,416
支払利息	2,390	2,238	2,087	△152
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	2,134	47,953	34,427	△13,527
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△2,059	△47,953	△34,427	13,527
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△2,059	△47,953	△34,427	13,527
一般財源充当額	23,164	39,141	41,278	2,138
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	21,105	△8,813	6,852	15,664

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	千里ニュータウン情報館の維持管理費に係る委託料4,368千円、千里ニュータウン情報館警備・保安業務委託料1,617千円、光熱水費1,124千円、備品購入費159千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	15,526	31,503	33,706	2,204
行政サービス活動収支差額	△15,526	△31,503	△33,706	△2,204
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	66	66
財務活動支出	7,638	7,638	7,638	-
財務活動収支差額	△7,638	△7,638	△7,572	66
収支差額 合計	△23,164	△39,141	△41,278	△2,138
一般財源充当額	23,164	39,141	41,278	2,138
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動支出
	給与費・職員手当等1,445千円の増加 物件費、委託料585千円の増加

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人あたりのコスト	平成28年度	7,226人	2,075円	平成31年3月31日現在の入館者数で算出し、入館者1人あたり3,221円のコストが生じています。なお、退職手当引当金繰入額を差し引いています。
	平成29年度	8,658人	3,698円	
	平成30年度	10,215人	3,221円	
床面積1㎡あたりの費用	平成28年度	206.94㎡	72,465円	施設の床面積1㎡あたり159,017円のコストがかかっています。なお、退職手当引当金繰入額を差し引いています。
	平成29年度	206.94㎡	154,716円	
	平成30年度	206.94㎡	159,017円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	9,330	9,401	72
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,692	1,763	72
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	44,447	43,434	△1,012	その他流動負債	7,638	7,638	-
土地	-	-	-	固定負債	117,605	109,669	△7,935
建物・工作物	44,447	43,434	△1,012	地方債	-	66	66
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	18,311	17,947	△363
無形固定資産	76	76	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	99,294	91,656	△7,638
土地	-	-	-	負債の部合計	126,934	119,070	△7,864
建物・工作物	-	-	-	純資産	△82,412	△75,560	6,852
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	44,523	43,510	△1,012
資産の部合計	44,523	43,510	△1,012	負債及び純資産の部合計	44,523	43,510	△1,012

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

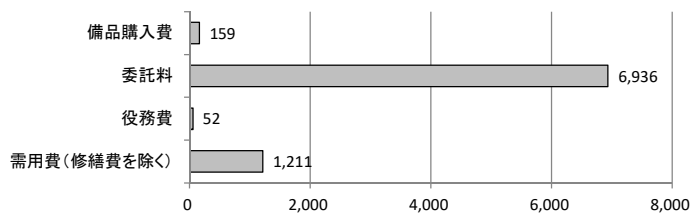
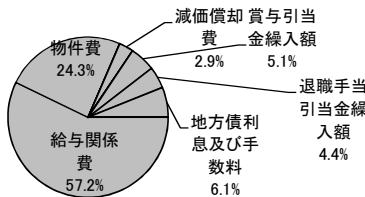
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
2.7人	人	人	日	人	22,969
給与関係費等	22,969千円	千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	257千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウン情報館 建物減価償却による減少
その他固定負債	PFI事業債務の返済による減少

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	千里ニュータウン情報館
取得年月日	平成24年(2012年)6月1日
建物・工作物の取得価額	50,268 千円
建物・工作物の減価償却累計額	6,834 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成30年度			差 B-A
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		9.6	11.6	13.6	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	99.8	△ 0.2
経常費用対公共資産比率		4.2	95.4	68.5	△ 26.9

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費19,686千円(57.2%)、物件費8,359千円(24.3%)となっています。物件費の内訳としましては、4,368千円が千里ニュータウン情報館の維持管理に係る委託料、1,617千円が千里ニュータウン情報館警備・保安業務に係る委託料、200千円が千里ニュータウン情報館の秋季企画展に係る委託料、1,263千円が需用費(光熱水費1,124千円、消耗品費63千円、印刷製本費24千円、通信運搬費52千円)です。減価償却により資産(建物)が減少しています。平成24年に供用開始した施設ですので、老朽化率は13.6%と、市保有施設全体の老朽化率56.2%と比較して、かなり低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

千里ニュータウン情報館は平成24年(2012年)9月3日に開館しました。開館2年目以降、平成28年度(2016年度)までは徐々に入館者数が減少していましたが、平成29年度(2017年度)以降増加しています。常設展示に加えて、春と秋に企画展示を行ったほか、複合施設である特徴を生かして、同じ千里ニュータウンプラザ内の図書館などと連携した展示やイベントの充実を図りました。さらに、平成30年度(2018年度)は博物館と連携しました。これらの要因が入館者増加につながったと考えられます。今後も多くの方々に利用していただけるために、より充実した内容にすることが課題です。本施設の老朽化率は13.6%と高くはありませんが、日頃から適切な維持管理に努めるとともに、空調温度のこまめな調整などにより、維持管理費や光熱水費などのコストの節減に努める必要があります。